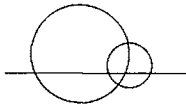


〈諸事項の報告・紹介〉



若手研究者育成会を終えて

大学史事務室 小林倫幸

このオープン・リサーチ・センター事業のひとつとして、「若手研究者の育成」がある。そこで、ポスト・ドクターやリサーチ・アシスタント等の育成の一助として、越知専氏（東亜同文書院大学

記念センター客員研究員）を代表とする「若手研究者育成会」を2009年1月に立ち上げ、月に1度昼食を取りながらの会合を持ってきた。この内容は下記のとおりである。

月 日	内 容
第1回：2009年1月20日（火）	「研究支援について」山本氏（研究支援課） 「全国大学史資料協議会研究会出席のための報告について（準備報告）」佃氏（大学史事務室）
第2回：2009年2月17日（火）	「図書館のデータベース化について（蔵居文庫を中心に）」豊田氏（東亜同文書院大学記念センター事務室） 「研究会（書院生によるフルンボイルに関する調査報告書について）での発表に向けて〈骨子報告〉」暁リサーチ・アシスタント
第3回：2009年3月17日（火）	アメリカ・シカゴ展示会の成功および出張者の安全を祈願するための壮行会実施（愛知大学応援圏によるエールを受ける）。 「書院生は上海で魚を食べていたか－各期回想録にみる書院生の食事情－」、「魚を食べていた東亜同文書院40期台生の食事情－倉田俊介氏より頂いたお手紙を中心に－」高木リサーチ・アシスタント
第4回：2009年4月21日（火）	「アメリカ・シカゴからの帰国報告（第1回）」藤田センター長、武井ポスト・ドクター、高木リサーチ・アシスタント
第5回：2009年5月19日（火）	「アメリカ・シカゴからの帰国報告（第2回）」山口氏（研究支援課）、佃氏（大学史事務室）、暁リサーチ・アシスタント
第6回：2009年6月17日（水）	石田卓生・暁敏岡氏（元リサーチ・アシスタント）の博士号取得を祝して
第7回：2009年7月28日（火）	懇談会（今までを振り返って）

この活動によって若手研究者相互の親睦や研究発表をする機会を持つことができたこと、また逆の面から言えばお互いの研究活動・内容を知ることができたことなど大きな成果を挙げることが

できた。この「若手研究者育成会」は一定の役割を果たしたとして、第7回で終了したが、この経験を活かし、さらなる若手研究者の成長・活躍を期待したい。